

事務事業調査

平成26年度

事業No	662	課	総務課	係	庶務係	起案者	橋本恵
						決裁者	加藤勉
事務事業名	小学校教材整備事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 3 義務教育 3 安全で快適な教育環境 2 快適な環境づくり			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-10-10			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策					
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	小学校児童が				～になる	教材を使用して学習ができるようになる		
事務事業の内容	教材を整備するものであり、各小学校から購入物品をとりまとめて発注します。								
改善・対策の履歴	予算配分にあたっては、各小学校に消耗品費と備品購入費の配分希望を聞いて調整し、必要な物品が購入できるように配慮しました。 物品の発注に際しては、時期を決めて一括で行うようにすることで、事務量を減らすとともに、スケールメリットにより価格が少しでも下がるように努めました。 図書の充足率が低い学校については、執行残額で図書を購入するように働きかけました。 図書の年間購入回数を4回に増やし、話題の図書の購入時期を逃さないようにしました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	56,073	56,436	58,756	58,198	58,756
財源計	55,317	55,680	58,000	57,442	58,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	55,317	55,680	58,000	57,442
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	756 (0.12)	756 (0.12)	756 (0.12)	756 (0.12)	756 (0.12)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	教材購入	見込	21.00	21.00	21.00	21.00
			実績	21.00	21.00	21.00	
	指標名 (単位)	購入校数(校)	活動の総事業費(千円)	56,073	56,436	58,198	
			活動にかかるコスト(千円)	2,670.14	2,687.43	2,771.33	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)		目標	21.00	21.00	21.00	21.00
	図書充足率を満たしている学校数(学校数)		実績	19.00	19.00	21.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	未達成	未達成	達成	
		0.00					
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	教材が必要な時期の聞き取りを行い、購入することにより、効果的に教材を活用することができました。 環境に配慮した教材を購入するよう指導しました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	事業費が増加した分、単位コストも増加しました。 可能な範囲でまとめて調達することで費用を下げるように努めています。
成果	引き続き適切な教材を購入することができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
限られた予算の中で、教材の購入にあたっては精査してもらうよう、引き続き学校に依頼します。また、図書については引き続き、すべての学校で充足率を満たすようにします。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	児童の学習効果が上がるように、適切で環境に配慮した教材を購入します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	698	課	学校教育課	係	学事係	起案者	土屋誠二
						決裁者	神尾壽明
事務事業名		実習田活用事業			事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 1 確かな学力を育む教育 2 総合的な学習の時間				予算科目(会計)		一般会計		
					予算科目(款・項・目)		50-10-10		
					総合計画以外の計画				
					関連する総合計画の施策				
					性質区分		市の内部事務事業		
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	全部委託		委託先						
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目		終了	期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		安城市立小中学校に通学する児童生徒が			~になる		作物づくりの大切さや大変さを体感できるようになる。	
事務事業の内容	農地を借りて、米・野菜づくりを体験することで、食物を大切にすることを養いつつ、作ることの大変さを理解します。								
改善・対策の履歴	学校隣接に限定することなく、また、市街化区域においては生産緑地を対象として実習田の確保を図っていきます。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	775	1,097	855	786	815
財源計	460	467	540	471	500
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	460	467	540	471
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	315 (0.05)	630 (0.10)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	土地借上げ料	見込	7,530.00	6,300.00	4,701.00	5,203.00
			実績	4,451.00	4,451.00	4,451.00	
	指標名 (単位)	借地面積 (㎡)	活動の総事業費 (千円)	775	1,097	786	
			活動にかかるコスト (千円)	0.17	0.25	0.18	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)		目標	14.00	14.00	14.00	14.00
	実績		実績	13.00	13.00	12.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	未達成	未達成	未達成	
		0.00					
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	・協調意識や助け合う気持ちも同時に養われました。 ・食事を残さないように努力するようになりました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	【外部要因】・学校周辺の地価に左右されます。(市街化区域か調整区域) ・転作がある場所での実習田は、稲作授業として行うときに苦労があるため、借地場所の変更をするため、借地面積が増え借地料が増額しています。
成果	【内部取組】・世話係を当番制にすることで、責任感を持つようになりました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・学校の隣接農地に限定することなく、調整区域で借地することで安定的事業の継続かつ借地料を抑えるよう検討します。 ・市街化区域の中でも生産緑地を借地することにより、市街地の学校でも実習事業を行うことができます。 ・借地上限面積を設定し、事業が継続しやすいようにします。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・参加する児童生徒の意欲を高めるための発表会等の開催や収穫物を利用したイベントの実施等をしていきたいです。